

# 台東区 入退院時情報連携シート コラム

令和元年8月号 No. 3



## ■ 入退院時情報連携シートの活用事例紹介

「患者の病状がわからないまま、退院してしまった。」

患者：70歳代

⇒独居高齢者、キーパーソンの長女は他県在住、月1回程度の訪問頻度で関わりは深くない。

### ◎退院の連絡及びその後の対応

長女から、本日退院すると連絡があった。そこから各サービス事業者へその旨を連絡し、詳しい病状がわからないまま、サービスを再開した。退院後に病状確認等をはじめたため、各サービス事業者の情報共有・連携が遅れた。



### ◎担当ケアマネジャーの感想

当日に退院すると連絡があったので、病状がよく分からなかった。今回は退院後の患者の体調が安定していたが、安定していない場合、初期対応が遅れ、病状の悪化に繋がるケースもある。退院前のカンファレンス等で連携シートを活用し、情報共有ができていれば、スムーズな連携がとれたと思われる。

## ■ 退院時における連携シート活用のポイント

### ◎退院前カンファレンス時にご活用ください。

入院時に提出した連携シートの写しに、病院の方々から得た情報を元にADL等の変化した部分を修正、追加記載し、退院時における情報を整理（退院時の連携シートを作成）してください。また、退院後、主治医やその他の関係機関と情報を共有してください。

## ■ 連携シートを提出する際の注意点

### ◎FAXでの情報提供について

FAXで情報提供をする際は、送信する前後に病院へ連絡し、「これからFAXを送ること」、「FAXが届いたか」を確認してください。



FAXで送付するシートは、名前の一部を黒く塗りつぶす等、個人が特定されないようにご配慮をお願いいたします。黒塗りをしていない原本のシートは、後日病院へ郵送または持参してください。

(発行) 台東区 健康課 医療連携担当 電話:(5246)1215